

「雄志」

民主党千葉県第10区総支部 谷田川はじめ後援会

【香取事務所】

〒287-0001 千葉県香取市佐原口2164-2
TEL 0478-54-5678 FAX 0478-52-6991
Mail:info@hajime-yatagawa.com
HP:www.hajime-yatagawa.com



民主党千葉県第10区総支部長
元衆議院議員
谷田川はじめ

「最後まで諦めない」 野田前総理の言葉より

秋の深まりが日々感じられる頃となりましたが、いかがお過ごしでしょうか。

2ページ目に書きましたように、去る9月27日に東総文化会館にて、旭地区の後援会発会式が開催され、野田前総理に50分程、ご講演頂きました。その中で、自衛隊関係者から聞いた話を引用され、運をつかむとはどういうことかを語られました。落選中の自分にとって、とても士気が鼓舞される話だったので、以下ご紹介致します。

『北海道で高度三百メートルから落下訓練を行っていた自衛隊員の落下傘が開かなくなり、隊員はそのまま真っ直ぐに落下した。地面には雪が約30センチメートルもついていたので、雪に突きささるような感じだった。しかし奇跡的に無傷で生還した。その隊員はいつも厳しい訓練を受けていた。三百メートルから落ちて、最後まで気絶しない、ちゃんと着地できるように地面を見続けて諦めなかった。気絶もしないでパニックにならず、冷静にどうやって着地するか最後まで見据えて

いた。隊員の諦めない心が功を奏したのか、激突する直前の5メートル位のところで、落下傘が少し開きかけた。時速14キロメートルを超えると人間は死んでしまうが、13・5キロメートル位でとどまったのは、5メートル手前で少し開きかけたから。』この話を聞いて私は思った。人生の運とは、最後まで諦めないこと。諦めない時に初めて運をつかむことができる。谷田川君は苦しい局面がずっと続いていますが、諦めないですっと前へ進もうとしている。その心があるかぎり必ず次は当選することができるかと確信しております。』

これまで皆様にご支援頂きながら、結果が十分伴わず大変申し訳なく存じます。しかし、ここで諦めたら、皆様の期待を裏切ってしまう。そうならないために、一日一日を無駄にせず、着実に前進して参ります。そして、野田前総理が述べられたように「最後まで諦めない」を誓いの言葉として励む所存です。

今後ともご指導ご鞭撻を賜り度く切にお願ひ申し上げます。
平成二十七年十一月

谷田川はじめ

野田前総理をお迎えして 旭地区後援会発会式を開催



司会を務めた石毛健さん



金谷斌 後援会長



来賓で出席頂いた旭市他地区の後援会長
左から高橋利彦 干潟地区後援会長
日下昭治 海上地区後援会長
水野征夫 飯岡地区後援会長



加瀬五郎 後援会顧問
(元旭市長)



熱弁する野田前総理



決意表明する谷田川はじめ



田中喜久子さんより花束贈呈



最後は加瀬将也さんの発声でガンバローコール3唱



600名を超える参加者で盛り上がった会場

9月27日(日)午後6時半より東総文化会館大ホールにて、旭地区谷田川はじめ後援会発会式が開催され、後援会長に金谷斌氏が就任しました。金谷会長は、「旭市の震災復興に尽力してくれた谷田川さんを再度国政へ送るために全力で頑張る」と宣言。後援会顧問に就任した加瀬五郎元旭市長も挨拶し、谷田川はじめへの支援を呼びかけました。

谷田川はじめは、飯岡中学校建設問題に触れ、当初復興庁の担当者が復興交付金(全額国庫)での対応に難色を示したものの、粘り強く働きかけた結果、復興交付金が認められ、これにより旭市の財政負担が3億円減少したことを披露。これからも地元役に立つように頑張りたいと訴えました。

最後に講演した野田前総理は、落下傘が故障したものの、奇跡的に無傷で着地した自衛隊員の話に触れ、「最後まで決して諦めないことが大切だ」と述べ、谷田川はじめの再起を期待しました。

尚、谷田川はじめのホームページから、谷田川はじめと野田前総理の動画をご覧頂けます。

小西参院議員をお迎えして 神崎町後援会発会式を開催



澤田健 後援会長



今井与一 後援会顧問



木内直樹 神崎町副議長



谷田川充丈 県議



実績をアピールする谷田川はじめ



小西洋之 参院議員

11月1日(日)午後2時半より、わくわく西の城にて神崎町谷田川はじめ後援会発会式が開催され、後援会長に前神崎町教育長の澤田健氏が就任しました。澤田会長は「谷田川さんが初当選した直後、石橋町長との橋渡し役をしたのが私で、谷田川さんは神崎町の要望を次々と実現してくれました。そういった経緯から後援会長を引き受けることにしました。」と就任の弁。

次に後援会顧問の今井与一氏が、「山村新治郎代議士の流れを組む谷田川さんに期待し応援したい」と挨拶。

出席した5名の神崎町議会議員を代表して木内直樹副議長は「佐原高校の同窓である澤田会長と谷田川さんに頑張ってもらいたい」とエールを送りました。

谷田川充丈県議の挨拶の後、登壇した谷田川はじめは、震災復興での神崎大橋の開通や浄水場の9割国庫負担の実現等の実績をアピール。

最後に挨拶に立った小西参院議員は「谷田川さんのように、議論でしっかり官僚と渡り合うとともに、一緒になって解決策を導き出そうとする政治家はなかなかいない。谷田川さんを再度国会へ送ることが当地域発展のために必要です。」と述べ、谷田川はじめへの支援を呼びかけました。



最後は佐藤輝良さんの発声でガンパローコール3唱



司会を務めた石田宏徳さん

配布したチラシを掲載しました。



京成成田駅にて (9/30)

9月のチラシ

民意を無視して 安保法案を強行採決！

政府提出の安全保障関連法案が参院安保特別委員会で9月17日夕刻、与党の自公両党議員らの強行採決により可決。そして9月19日未明の参院本会議で、自公与党などの賛成多数で可決・成立しました。

安倍総理自身が「まだ国民の理解が進んでいない」と発言し、しかも各紙世論調査で6割以上の国民が今国会での成立に反対した中での強行は、まさに民意を無視していると言わざるを得ません。

この法案は、多くの憲法学者、歴代の内閣法制局長官経験者、さらには最高裁判所元長官も憲法違反であると断じたものです。集団的自衛権については、これまで自民党の歴代内閣が「権利は有するが行使ができない」としてきましたが、安倍内閣は昨年7月1日の閣議決定だけでその憲法解釈を変更してしまいました。

また、衆参の審議で、安倍総理をはじめ関係閣僚の答弁が二転三転しました。当初、安倍総理は、集団的自衛権を行使する事例として、中東ホルムズ海峡での機雷除去と日本人を乗せた米艦を守ることを挙げていましたが、それらは具体的に該当しないことが判明しました。逆に中谷防衛大臣は、その対象が政府の裁量で際限なく拡大することを明らかにしました。

こうした政府のいい加減な答弁が繰り返されたため、衆参ともに110回以上にわたり審議が中断しました。

審議すればするほど、問題点が次々と明らかになった安保法案。「一体自分たちはどこへ連れていかれるのか？日本は戦争に巻き込まれるのではないか？」

と言った不安が多くの国民に共有されたからこそ、国会周辺や全国各地でデモ参加者の数がふくれあがったのだと思います。

こうした国民の不安に対して、納得いく説明を政府が果たしたとは到底言えません。特に安倍総理は、野党の質問に正面から答えず、はぐらかしてばかりとの印象を強く持ちます。総理が国民を説得しようとする覚悟がないなかで、数を頼りに法案を強行に成立させたことは、断じて容認できません。

私ども民主党は、専守防衛に徹し、「近くは現実的に」「遠くは抑制的に」「人道支援は積極的に」という基本理念に沿って日本の平和を守る決意です。

早朝の駅頭活動で、9月と10月に

10月のチラシ

虚しく響く安倍総理のスローガン

あの安保法案の強行採決から1ヵ月が過ぎました。安倍総理は、「安全保障法制は国民の皆さんに十分理解されていないので、これからも丁寧に説明していきたい」と述べたものの、そのような行動を取っているように思えません。それどころか、国民の目をそこからそらそうと懸命に努力されているようです。

9月24日の記者会見で安倍総理は、「アベノミクスは第2ステージに移る」と宣言。これまで3本の矢と称した「金融緩和」「財政出動」「成長戦略」に代わり、「希望を生み出す強い経済」「夢をつむぐ子育て支援」「安心につながる社会保障」という新しい3本の矢を打ち出し、「誰もが家庭で職場で地域で、もっと活躍できる『1億総活躍社会』をつくる」などと述べました。

果たして、この安倍総理の記者会見を皆さんはどう受け止めたのでしょうか？ 私には安保法案で下がった支持率を上げようと悪あがきしているようにしか思えませんでした。

まず第一に指摘したい点は、アベノミクスが最初に打ち出した3本の矢は効果があったのでしょうか？ その検証をしっかりとすべきではないでしょうか。確かに金融緩和が円安株高の基調をつくり、大企業の収益を改善したのは事実です。しかし、その恩恵が家計にまで届かず、逆に円安による物価高が家計の負担になっています。物価の影響を差し引いた実質賃金指数は、ここ2年以上、マイナス基調が続きました。

少なくとも、アベノミクスが目標とした「経済の好循環」は実現していません。それは、経済成長率を見れば一目瞭然です。安倍政権下（2012年第4四半期～15年第2四半期）の実質GDP成長率は年率0.9%にすぎません。民主党政権期（09年第3四半期～12年第4四半期）の年率1.7%の半分しかありません。

次に指摘したいのは、政策のちぐはぐさです。安倍総理は、「アベノミクスで雇用は100万人以上増えた」と豪語しましたが、政権発足前の12年春からの3年間で、正社員は56万人減る一方、非正社員は178万人も増えました。このことが前述した実質賃金の減少の大きな要因であることは、明らかです。安倍総理は「雇用をさらに増やし、給料をさらに上げ、消費を拡大させる」と約束しましたが、先の国会で成立した改正労働者派遣法の施行で、企業は働く人を代えれば派遣社員をずっと受け入れられるようになるため、正社員を派遣に置き換える動きが加速する懸念が大です。本当に給料を上げたいのであれば、非正社員から正社員に昇格させる誘導策を政府は導入すべきです。

さらに、「1億総活躍社会」の意味もはっきりしません。10月7日の内閣改造で、その担当大臣を置くことになりましたが、昨年総理の肝入りで発足した地方創生担当大臣との役割分担もはっきりしません。また今回の内閣改造で、9人の新大臣が誕生しましたが、その所信表明を聞くためにも、1日も早く臨時国会を召集すべきです。しかし、政府は新閣僚への追及を恐れて、それには消極的なようです。

以上のことから、私には安倍総理の言葉が虚しく響くだけなのです。



JR 銚子駅にて（10/26）

「出前民主党」 関係省庁からヒアリング



小西参院議員とともに担当者からヒアリング

8月24日に香取市、銚子市、旭市、匝瑳市、横芝光町、成田市の5市1町を訪問して、国政に対する要望を聴取。その内容を踏まえ、10月21日小西洋之参院議員とともに議員会館会議室で、関係省庁担当者からヒアリングを行いました。5年前からスタートした「出前民主党」。これまで多古こども園への国庫補助や旭市飯岡中学校の復興交付金の適用を実現するなどかなりの実績をあげています。もちろん、すぐに実現が難しいものもありますが、粘り強く働きかけていく所存です。

民主党県連で被災した銚子漁港を視察



説明を受ける民主党所属の議員ら

9月中旬に起こった関東・東北豪雨。茨城県常総市では、鬼怒川が破堤し、甚大な被害を受けましたが、その影響が利根川最下流の銚子にもたらされました。大量の流木やゴミが銚子港に堆積したのです。9月24日に田嶋県連代表ら3人の国会議員とともに現場を視察し、関係者から説明を受けるとともに、その後、銚子市漁業協同組合を訪問。坂本組合長と意見交換を行いました。民主党は流木対策に全力で取り組んで参ります。



坂本漁協組合長と意見交換



流木等を集積している現場



税理士による谷田川元後援会総会 (10/2)



多古町後援会役員会 (10/4)



出前民主党で匝瑳市から指導強化の要望があった再生土を使用した埋立現場を民主党県議団とともに視察 (9/30)

はじめの活動写真



小見川サッカー交流大会で挨拶 (10/31)



定期的に早朝の駅頭活動

谷田川はじめは、成田駅西口、京成成田駅、公津の杜駅、佐原駅で毎月早朝の駅頭活動を続けています。その他の駅は、ローテーションを組んで行っています。

自分の主張や活動等を A4 版の紙に印刷して、毎回内容を変えて配布しています。駅で谷田川はじめの姿を見たら、是非声をかけて下さい。



成田駅西口 (9/28)



公津の杜駅 (9/29)



佐原駅 (10/1)



旭駅 (10/7)

「谷田川はじめ主催 講演会・パーティー」のご案内

下記の通り、元外務省主任分析官で作家の佐藤優先生をお招きし、講演会を開催することとなりました。講演会の後、懇親パーティーも実施致します。パーティーには、野田前総理にもご出席頂きます。

選挙区各地からバスによる送迎も行います。詳しくは、事務所にお問い合わせ下さい。皆様のご参加をお待ちしております。



佐藤 優 先生

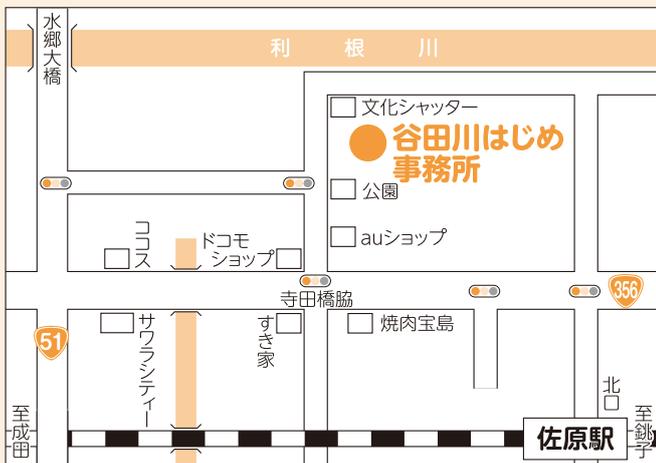
記

- 日 時 平成27年11月23日(祝日)
午後5時(午後4時受付開始)
講演会(着席形式)開始
午後6時30分
懇親パーティー(立食形式)開始
- 場 所 成田ビューホテル
成田市小菅700 ☎0476-32-1111
- 会 費 10,000円
- 振込先 谷田川はじめ主催講演会事務局
千葉銀行 佐原支店 普 3624193

※会費は、当日会場でも受け付けできますが、事前にお振り込みいただければ幸いです。
この催し物は政治資金規正法第8条の2に規定する政治資金パーティーです。

谷田川はじめ事務所

〒287-0001 千葉県香取市佐原口2164-2
TEL.0478-54-5678 FAX.0478-52-6991



【谷田川はじめプロフィール】

- 昭和38年 1月17日香取市に生まれる
- 56年 千葉県立佐原高校卒業
- 60年 早稲田大学政治経済学部卒業
- 同年 丸紅(株)入社
- 63年 (財)松下政経塾入塾
在塾中、米国連邦下院議員政策
スタッフとして活動
- 平成3年 衆議院議員山村新治郎秘書
- 5年 千葉県議会議員初当選
以後4期連続当選
- 21年 衆議院議員初当選
拉致問題特別委員会理事
国土交通委員会委員
民主党成田空港ハブ化推進議員連盟事務局長
- 24年 再選を目指したものの惜敗
- 26年 振り返きを目指すもわずかに10票で
比例区当選に届かず
- 【現在】 民主党千葉県第10区総支部長
千葉県ハンドボール協会会長

冠婚葬祭等の情報がありましたら、谷田川事務所までご連絡下さい。

メッセージの手配をさせて頂くとともに、日程調整がつかば、谷田川はじめが顔を出させていただきます。